



士別翔雲高校だより

学校通信 第174号 令和7年 3月19日(水) 発行 校訓「一歩前へ」

令和6年度を振り返って

校長 佐藤 敬二

春の訪れを感じる季節となりました。今年度も残りわずかとなり、在校生は次の学年に向けて、充実した日々を送っています。保護者の皆様、地域の皆様には、一年間を通じて本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今年度は生徒たちの挑戦する姿が多く見られた一年でした。学習面では、各種模擬試験や検定試験において優秀な成績を収める生徒が増え、進学や就職に向けた努力の成果が着実に表れています。また、1学年の探究活動では、自分たちが住むこの地域の課題を設定し、地域社会の在り方について学ぶ貴重な体験をしました。生徒たちは、地域の方々から直接話を聞くことで、自分たちの住む町への理解を深め、郷土愛を育むことができました。部活動では全道大会や全国大会に出場するチーム、個人もあり、日々の練習の成果を十分に発揮してくれました。さらに、地域との連携を深める活動として、総合ビジネス科の生徒を中心に地元のイベントやボランティア活動にも積極的に参加し、地域社会の一員としての自覚を高める機会となりました。

このように、今年度も生徒たちはさまざまな場面で活躍し、多くの学びを得ました。そして、その背景には、保護者の皆様や地域の皆様の温かい支えがあったことを改めて実感しております。学校は、子どもたちが成長する場であると同時に、地域の一員としての役割も果たすべき存在です。生徒たちが社会に出た際に、地域の一員として誇りを持ち、社会に貢献できる人材へと成長するためには、学校だけではなく、地域の皆様のご協力が不可欠です。今後も、本校は「地域に根差した学校」として、生徒たちの健やかな成長を支えてまいります。引き続きご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

いよいよ新年度が近づいています。次の学年へと進む生徒たちには、新たな目標を持ち、これまでの経験を生かしてさらに成長してほしいと願っています。

最後になりますが、本年度も本校の教育活動にご支援をいただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。来年度も引き続き、温かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、令和6年度卒業生の進路状況（合格・内定状況）につきましては、本校ウェブページ (<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>) に掲載しております。

右のQRコードよりご覧ください。



スキー授業

今年度のスキー授業では、和寒町東山スキー場で1年生と2年生がそれぞれ2回ずつスキーを学びました。授業では、基本的な滑り方や転倒からの立ち上がり方、雪上でのバランス感覚を身につけ、実際にスキーを楽しむための大切なスキルを習得します。習熟度に合わせてクラスを分け、みんなで励まし合いながら少しずつ技術を向上させていました。その後、2月6日(木)に1年生と2年生が一堂に会して行われた合同スキー授業は、1日を通して実施されました。寒い日ではありましたが、参加した生徒たちは楽しそうに滑りながら、互いにそれまで学んだ技術を披露し、交流を深めることができました。昼食後も元気に滑り続け、誰も怪我をすることなく帰ってくることができました。怪我や体調不良等でロッジに待機していた生徒も、課題や各自の勉強に集中して取り組むことができました。



PTA 研修会

PTA研修会として、フラワーアレンジメントの講習が開催されました。講師には士別市「千草生花店」の千葉晃樹さんをお招きしました。千葉さんは、フラワーアレンジメントに関する数々の賞を受賞しているプロフェッショナルで、その豊富な経験と技術を活かし、親身に指導してくださいました。

今回の講習では、従来のフラワーアレンジメントにとどまらず、ユニークで斬新なアプローチとして「紙袋に花を生ける」という手法が紹介されました。花を持ち帰りやすくし、少ない花でも華やかに見せるための千葉さんのアイデアです。保護者の方々は千葉さんの指導のもと、花を丁寧に選びながら、アレンジしていききました。作品が完成するたびに満足そうな笑顔が広がりました。

作成したフラワーアレンジメントは、卒業式の日には廊下に飾られ、卒業生たちを迎える美しい空間を演出しました。花々が生けられた紙袋は、シンプルでありながらも温かみがあり、卒業生たちの目を癒し、特別な一日をより一層華やかに彩りました。保護者の皆さんが作った作品が、卒業式の思い出として学校の一角を飾ることができ、卒業生にとっても心に残るプレゼントとなったことでしょう。



合格者速報

先月号で3年生の進路状況をお知らせしましたが、その後、新たに合格した生徒がいますので、その嬉しい報告を今月号でお伝えいたします。努力と成果が実を結んだ姿に、心からの祝福を送ります。

祝 合格 (2月25日以降)		
北海道大学	1名	北海学園大学 1名
北海道教育大学旭川校	5名	札幌大学 5名
名寄市立大学	1名	札幌学院大学 1名
釧路公立大学	1名	
長崎県立大学	1名	3月18日現在



令和6年度の卒業式が、3月1日に挙行されました。晴れ渡る空のもと、卒業生106名が北海道士別翔雲高等学校を巣立ちました。式典は、多くの保護者の皆様や地域の方々、そして在校生が見守る中、厳かな雰囲気の中で行われました。卒業生は、入学当初から多くの困難や挑戦に直面しながらも、毎日一步一步着実に成長を遂げてきました。学業はもちろん、部活動や学校行事など、さまざまな活動を通じて得た経験は、大いなる人生の財産となることでしょう。



卒業式では、本校校長から、卒業生の努力と成長を称賛するとともに、これからの未来に向けての希望と期待を込めた温かい言葉が贈られました。そして現生徒会長の佐々木陽生さんは送辞で、卒業生のように学校を引っ張っていく存在になりたいと決意を語りました。前生徒会長である佐々木花楓さんは、卒業生を代表してこれまでの高校生活を支えてくれた人々たちへの感謝の気持ちを述べました。その言葉には、3年間の思い出が込められていて、その言葉に涙した人も少なくはなかったでしょう。涙をこらえながら話す姿からは、卒業生としての誇りと、新たな一步を踏み出す決意が感じられました。

また、最後には在校生からの合唱があり、先輩との思い出を胸に、心をつなげて歌っていました。体育館に響き渡るその声に、深い感動が会場を包み込みました。

表彰者一覧

皆勤賞 **岩野礼奈 山下陽色 田中愛梨 瀧上耀二 三好琉斗**

産業教育振興中央会賞

本間愛梨

全国商業高等学校長協会賞

岡田董生

全国商業高等学校協会主催検定試験三種目以上1級合格表彰者 **本間愛梨 吉越穂乃**

特別賞（部活動で優秀な成績を残したことを賞して） **榎本凌也 中川賢信**



この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、道新鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。

〈発行者〉北海道士別翔雲高等学校 担当：総務部

〈電話〉0165-23-2914 〈FAX〉0165-23-2911

〈ホームページ〉<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>

〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

上記のホームページ（もしくは右記のQRコード）でカラー版をご覧ください。

その他生徒達の活動は随時学校INSTAGRAMにて更新しておりますので、そちらも是非ご覧ください。



HP



INSTAGRAM

文武両道の翔雲へ！

翔雲高校魅力化 事業報告

学力向上助成事業

模試・検定の受験補助やスタディサプリ・Classi等の利用補助を行いました。

令和6年度卒業生は、3年生Aコース全体の約8割以上が4年制大学に進学しており、志望する大学への進路実現を果たしました。国公立大学には北海道大学、小樽商科大学、北海道教育大学、札幌市立大学、室蘭工業大学、旭川市立大学、名寄市立大学、弘前大学、長崎県立大学など計25名が合格しました。私立大学では道外の東海大学や日本大学、駒澤大学のほか北海学園大学、北星学園大学、北海道医療大学など計44名が合格しました。合格者の多くは模擬試験やスタディサプリの利用補助を受け、希望の進路実現を叶えることができました（進路実績は3月18日現在）。

大学進学に向けて何度も模試を受ける必要があるため、そのたびにお金がかかってしまいます。補助をしていただけるおかげで、負担を気にせず模試を受験することができ、感謝しています。

2年A組 谷一颯

資格の取得は就職に役立つので、できるだけ多くの検定を受検したいと考えています。補助があることで、とても助かっています。

2年D組 澤田璃士

部活動魅力化事業

昨年度も来ていただいた、元NPB選手である大引啓次氏を講師とし、今年度は全校生徒に向けての講話をしていただきました。

また、野球部へ3日間に渡り技術指導をしていただきました。プロならではの貴重なアドバイスや練習法を直接学び、部員一同、大変刺激を受けました。



大引さんのような自分たちより長く、レベルの高い環境でプレーしてきた人から野球を教わることで、技術の向上、打席での配球の考え方などの知識も学ぶことができました。貴重な体験になりました。

1年B組 本郷創士

探究学習事業

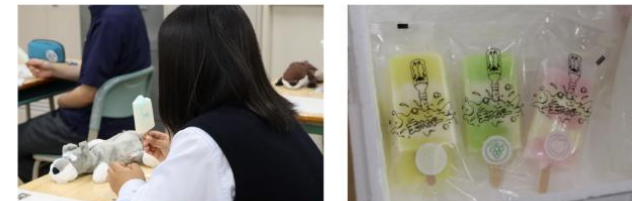
今年度の後半より、1年生の探究活動に対し、地域おこし協力隊の荒又さんを中心として支援を行っていただいています。「自己理解・他者理解・問題発見・問題解決・地域交流」の力を身に付けるため今後も活動を続けていきます。



地域連携事業（総合ビジネス科）

市役所、観光協会、商店街組合等との町おこし企画

・新商品の開発（天サイバー新フレーバー開発）



・士別商店街のイベント企画



トレジャーウォーキング

クリスマスケーキ抽選会

・商業教育フェア(札幌)等での販売会

地域の人と関わることで、色んな考えを得たり、学べたり、勉強する場面がたくさんあります。商品開発や販売会では、苦戦することも多々ありますが、クラスみんなで協力して地域を盛り上げることができるのが魅力です。

2年D組 新田莉央

学校PR事業

学校の魅力をより広く伝えるとともに、市外の中学校に向けてPR訪問を実施しました。

部活動備品購入

授業や部活動で使用する大型のモニターを購入し、教室に設置しました。

下宿費補助

自宅からの通学が難しい生徒に対して下宿費用の補助を行いました。